

1. 科目名 (単位数)	障害者福祉特論 (2 単位)	池袋・名古屋	3. 科目番号	SSMP5317
2. 授業担当教員	立松 英子			
4. 授業形態	講義・演習		5. 開講学期	【池袋】 秋期 【名古屋】 春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		履修形態 (通信教育)	R(S)
7. 講義概要	社会福祉の理念や制度は、国際的な条約やその時々の政情を反映して変化してきた。なかでも障害者福祉の理念や制度は、「障害者の権利に関する条約」への批准 (2014) を契機に我が国においても大きく進展した。社会福祉の専門家を志す大学院生においては、その歴史、制度の背景、現在の課題を学びつつ、常に障害者の存在を忘れずに学んでいただきたい。本講義では、国内外の障害福祉の理念や制度について学ぶとともに、現場のマネジメント及び支援の実践について学習していく。			
8. 学習目標	上記を踏まえて幅広い知識を身につけ、障害のある人のQOL (生活の質: Quality of Life) とは何か、本人や親の立場に立って分析、考察する力量を身につけることを目指す。			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	(レポート課題) 障害者に関連する次の条約や制度、法律のうち複数について簡潔にレポートしてください。 1. 国際生活機能分類 (ICF)、障害者の権利に関する条約、障害者基本法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者虐待防止法、障害者差別解消法、障害者雇用促進法、障害者自立支援制度 (障害者総合支援法)、 2. 教科書から関心のあるテーマを取り上げ、授業で解説してください。 *その他、授業の中で、予習課題を提示します。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 特になし 【参考書】 日本発達障害連盟編『発達障害白書 2021 年版』明石書店 社会福祉士養成校座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度第 6 版』中央法規 2019 年 内閣府『令和 2 年版 障害者白書』 <a href="https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/index-w.html">https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/index-w.html</a> 内閣府『令和 2 年版 子供・若者白書』 <a href="https://www8.cao.go.jp/youth/suisin/hakusho.html">https://www8.cao.go.jp/youth/suisin/hakusho.html</a> 小林保子・立松英子『保育者のための障害児療育』学術出版会、2016 年 厚生労働省『保育所保育指針解説』平成 30 年 2 月 <a href="https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000202211.pdf">https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000202211.pdf</a> AAIDD 米国知的・発達障害協会訳『知的障害定義、分類および支援体系第 11 版』日本発達障害福祉連盟 日本知的障害者福祉協会調査・研究委員会編『知的障害者のためのアセスメントと個別支援計画の手引き—一人ひとりの支援ニーズと支援サービス 2013 年版』2015 年 その他、授業でプリントを配布する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 課題に対するモチベーションの高さや調査の深さを規準に判断します。 ○評定の方法 興味関心や課題意識 30% 予習課題への取組み 50% レポート 20%			
12. 受講生へのメッセージ	障害理解のためには、福祉のみならず、医学、教育の側面からも知識を得ておくことが重要である。「総合リハビリテーション」(医学書院)、「リハビリテーション医学」(社)日本リハビリテーション協会)などリハビリテーションに関する学会誌や、保育や教育との接続に関して特別支援教育関連の文献にも目を通していただくことをお勧めします。			
13. オフィスアワー	授業でお知らせします。			
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	障害者福祉の基本理念			
	【学習の目標】 国際的に共有されている人権及び障害者福祉の理念について理解する。 【学習の内容】 障害者の権利に関する条約の概要、ノーマライゼーションの起源と理念、障害者における「自立」の概念について 【キーワード】 障害者の権利に関する条約・人権・ノーマライゼーション・リハビリテーション・自立と社会参加・共生社会 【学習の課題】 上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。 【参考文献】 外務省訳『障害者の権利に関する条約』 <a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinken/index_shogaisha.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinken/index_shogaisha.html</a> 【学習する上での留意点】 生活の全てで介助が必要な障害者を念頭に、「自立」の意味を考察すること。			
2. テーマ	障害の概念			
	【学習の目標】 国際生活機能分類 (ICF) における障害概念と障害モデルについて理解する。 障害者関連法律や制度の理念と目的、障害者の定義について理解する。 【学習の内容】 ICF の成り立ちとその理念、構成要素、ICIDH との相違点 【キーワード】 国際生活機能分類 (ICF)、国際障害分類 (ICIDH)、障害モデル 【学習の課題】 上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。 【参考文献】 厚生労働省『国際生活機能分類改訂版』(日本語版) <a href="http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/08/h0805-1.html">http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/08/h0805-1.html</a> 【学習する上での留意点】 これまでの人生で培われてきた自らの障害者観と国際的に共有されている障害者観や福祉の理念を言語化し、その共通点や相違点を明らかにすること。			

3. テーマ	障害児・者の生活実態
	<p>【学習の目標】我が国における障害者の生活実態を理解する。</p> <p>【学習の内容】手帳制度の分類による障害種別と各々の実態、実例。</p> <p>【キーワード】身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者</p> <p>【学習の課題】上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を身につけて授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】『保育者のための障害児療育』</p> <p>【学習する上での留意点】障害の認定を求め、手帳を申請することの意義について考察すること。</p>
4. テーマ	障害者福祉制度の発展過程
	<p>【学習の目標】障害者福祉政策の歴史を学び、現在の課題について考える。</p> <p>【学習の内容】戦後初期の障害者福祉施策、経済成長期の障害者福祉施策、近年の障害者福祉施策（自立支援へ）</p> <p>【キーワード】難病対策</p> <p>【学習の課題】障害観の変遷（ネガティブな捉えからポジティブへ）について概観しておくこと。</p> <p>【参考文献】授業で文献を配布する。</p> <p>【学習する上での留意点】自らの学齢期における障害者関連の経験を振り返っておく。</p>
5. テーマ	障害者をめぐる基本的な法律の概要（1）障害者基本法・障害者総合支援法
	<p>【学習の目標】法の成り立ちや改定の経過を学びながら、その主旨と背景を理解する。</p> <p>【学習の内容】法の成り立ち、その理念と具体化、関係法令への流れ、</p> <p>【キーワード】障害者基本法、障害者総合支援法、第4次障害者基本計画、応能負担、応益負担、自立支援</p> <p>【学習の課題】障害者関連の法律に関連する新聞記事などを検索し、ディスカッションの話題とする。</p> <p>【参考文献】障害者をめぐる法律改正に関する社説など</p> <p>【学習する上での留意点】過去に新聞やテレビで報道された内容と関連付けながら参加してください。</p>
6. テーマ	障害者をめぐる基本的な法律の概要（2）身体障害者福祉法の概要
	<p>【学習の目標】「身体障害」の概要とニーズを理解する。</p> <p>【学習の内容】「身体障害」に含まれる障害、合併症、二次障害、介護の実態、医療との関連</p> <p>【キーワード】身体障害者福祉法 内部障害、免疫機能障害</p> <p>【学習の課題】上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】竹田一則『肢体不自由児・病虚弱児教育のためのやさしい医学・生理学』ジヤース教育新社</p> <p>【学習する上での留意点】誰にでも起こりうる身近な問題として捉えること。</p>
7. テーマ	障害者をめぐる基本的な法律の概要（3）知的障害者福祉法の概要
	<p>【学習の目標】「知的障害」の定義、概要及びニーズを理解する。</p> <p>【学習の内容】知的障害の概要、起こりやすい状態、合併症、二次障害、社会的ニーズ、医療との関連等。</p> <p>【キーワード】知的障害者福祉法 療育手帳 発達障害</p> <p>【学習の課題】上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】日本発達障害福祉連盟訳『知的障害 定義、分類および支援体系』第11版 AAIDD 米国知的・発達障害協会</p> <p>【学習する上での留意点】誰にでも起こりうる身近な問題として捉えること。</p>
8. テーマ	障害者をめぐる基本的な法律の概要（4）精神保健及び精神障害者福祉に関する法律・発達障害者支援法の概要
	<p>【学習の目標】「精神障害」「発達障害」の定義、概要及びニーズを理解する。</p> <p>【学習の内容】精神障害、発達障害の定義、知的障害や認知賞との関連、起こりやすい状態、合併症など、</p> <p>【キーワード】精神障害、発達障害、発達障害者支援法、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害</p> <p>【学習の課題】上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】日本発達障害福祉連盟『発達障害白書2019年度版』明石書店2018、その他授業で配布する。</p> <p>【学習する上での留意点】誰にでも起こりうる身近な問題として捉えること。</p>
9. テーマ	その他の障害者関連法令
	<p>【学習の目標】障害者雇用促進法や障害者虐待防止法、障害者差別解消法等の概要を理解する。</p> <p>【学習の内容】障害者雇用促進法や障害者虐待防止法、障害者差別解消法等を障害者基本法とのつながりにおいて学習する。</p> <p>【キーワード】障害者雇用促進法や障害者虐待防止法、障害者差別解消法等</p> <p>【学習の課題】上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】授業で資料を配布する。</p> <p>【学習する上での留意点】保護者や利用者の目線で生活を想像しながら授業に参加してください。</p>
10. テーマ	障害者を支えるテクノロジー
	<p>【学習の目標】少子高齢化社会を支える資源としてテクノロジーが注目され、障害者福祉でも応用されていることを知る。</p> <p>【学習の内容】介護アシスト商品、聴覚障害者仕様の警報機や時計、支援用情報ネットワーク、災害時の情報伝達システムなど</p> <p>【キーワード】ICT、IoT、介護アシスト商品、電動車椅子や補装具、タイムタイマー、情報伝達システム</p> <p>【学習の課題】ICT、IoT、介護ロボットを含めて具体的にどのような支援方法があるのか調べる。</p> <p>【参考文献】坂村健『IoTとは何か 技術革新から社会革新へ』角川新書 2016</p> <p>【学習する上での留意点】テクノロジーは人手不足を補が、情報弱者と活用者との格差を生んでいることに着目してください。</p>
11. テーマ	障害者総合支援法に基づく支援サービスの実際
	<p>【学習の目標】障害者総合支援法の概要を理解する。</p> <p>【学習の内容】障害者総合支援法に基づく支援サービス体系とその実際</p>

	<p>【キーワード】 障害者総合支援法、支援サービス体系、放課後等デイサービス、日中介護、行動援護</p> <p>【学習の課題】 上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】 授業で資料を配布する。</p> <p>【学習する上での留意点】 保護者や利用者の目線で生活を想像しながら授業に参加してください。</p>
12. テーマ	医学・福祉の連携 ―誕生・発見から療育への接続―
	<p>【学習の目標】 誕生、障害の発見から治療、療育、地域の保育所への入園、受け入れまでの経過についてイメージをもつ。</p> <p>【学習の内容】 重症心身障害、知的障害、肢体不自由、知的障害のない発達障害など、それぞれに異なる発見の時期や気づきの経過、診断・告知から入園までの経過について</p> <p>【キーワード】 診断、告知、療育、リハビリテーション、理学療法、作業療法、言語療法、並行通園</p> <p>【学習の課題】 上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】 小林保子・立松英子『保育者のための障害児療育』学術出版会、2017 その他授業で配布する。</p> <p>【学習する上での留意点】 保護者や利用者の目線で生活を想像しながら授業に参加してください。</p>
13. テーマ	福祉・教育の連携 ―特別支援教育・放課後等デイサービス―
	<p>【学習の目標】 特別支援教育の制度の概要を理解する。障害のある学童の放課後の生活についてイメージをもつ。</p> <p>【学習の内容】 特別支援教育の制度、特別支援教育コーディネーターの役割、放課後等デイサービスの実態</p> <p>【キーワード】 特別支援教育、特別支援教育制度、特別支援教育コーディネーター、放課後等デイサービス</p> <p>【学習の課題】 上記キーワードについて、インターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】 小林保子・立松英子『保育者のための障害児療育』学術出版会、2017 その他授業で配布する。</p> <p>【学習する上での留意点】 保護者や利用者の目線で生活を想像しながら授業に参加してください。</p>
14. テーマ	教育・福祉・労働の連携 ―就労支援と雇用・企業内教育―
	<p>【学習の目標】 障害のある人の学校卒業後の生活及び就労についてのイメージを持つ。</p> <p>【学習の内容】 教育から福祉・就労への移行における様々な支援活動について</p> <p>【キーワード】 個別的就労支援計画、個別の移行支援計画、ハローワーク、日中介護支援、特例子会社</p> <p>【学習の課題】 上記キーワードについて、インターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】 日本発達障害福祉連盟『発達障害白書 2019年度版』明石書店 2018、その他授業で配布する。</p> <p>【学習する上での留意点】 保護者や利用者の目線で生活を想像しながら授業に参加してください。</p>
15. テーマ	強度行動障害に関連する福祉の実態
	<p>【学習の目標】 強度行動障害の実態や要因、地域生活や処遇について理解する。</p> <p>【学習の内容】 強度行動障害をめぐる施策、家族の状態、成人期の生活</p> <p>【キーワード】 強度行動障害、行動援護</p> <p>【学習の課題】 上記キーワードについて、インターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】 授業で配布する。</p> <p>【学習する上での留意点】 保護者や利用者の目線で生活を想像しながら授業に参加してください。</p>